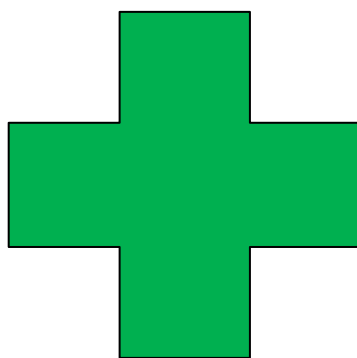


# 安全衛生統計資料 コメント付き

平成22年度 全国安全週間スローガン

『みんなで進めようリスクアセスメント めざそう職場の安全・安心』



安全第一



厚生労働省 筑西労働基準監督署

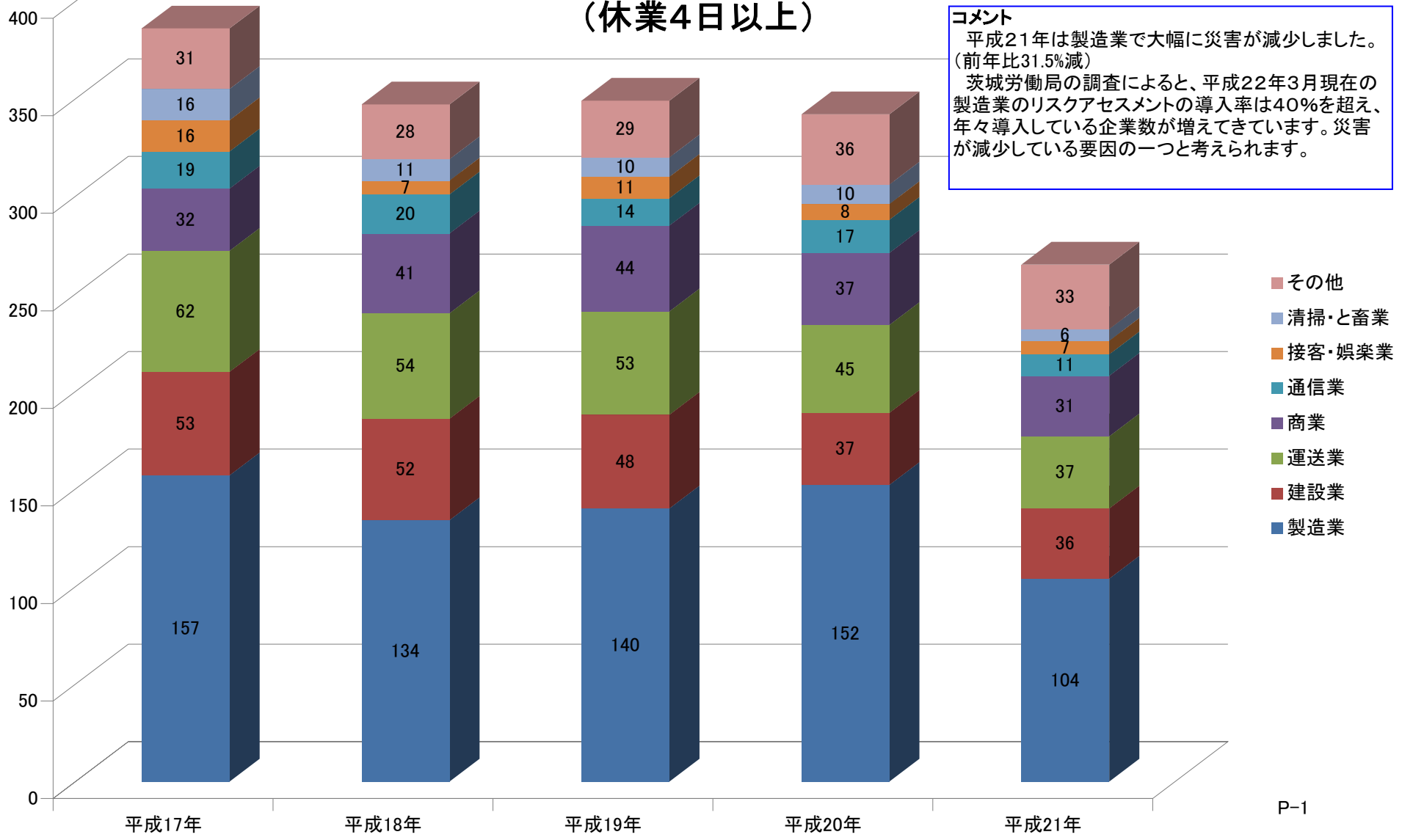
平成 22 年 4 月

## 平成21年 筑西署管内の災害統計

### 目次

- P-1 … グラフ1 平成17年～21年・業種別年別災害発生状況(休業4日以上)
- P-2 … グラフ1-2 平成17年～21年・業種別年別災害発生状況(休業4日以上)
- P-3 … グラフ1-3 平成17年～21年・業種別年別災害発生状況(死亡災害)
- P-4 … グラフ2 業種毎の災害発生状況の推移(休業4日以上)
- P-5 … グラフ3 事故の型別災害発生状況(休業4日以上)・円グラフ
- P-6 … グラフ4 年代別災害発生状況(休業4日以上)
- P-7 … グラフ5 災害程度別発生状況(休業4日以上)
- P-8 … グラフ5-2 災害程度別発生状況(休業4日以上)・円グラフ
- P-9 … グラフ6 月別災害発生状況(休業4日以上)
- P-10 … グラフ7 曜日別災害発生状況(休業4日以上)
- P-11 … グラフ8 傷病性質別災害発生状況(休業4日以上)
- P-12 … グラフ8-2 傷病性質別災害発生状況(休業4日以上)・円グラフ
- P-13 … グラフ9 時間帯別災害発生状況(休業4日以上)
- P-14 … 表1 平成21年労働災害の発生状況(休業4以上の災害)
- P-15 … 表2 死亡災害事例
- P-16 … グラフ10 定期健康診断有所率の推移(平成17年～21年)
- P-17 … グラフ11 定期健康診断の項目ごとの有所見率(平成21年)

# グラフ1 平成17年～21年・業種別年別災害発生状況 (休業4日以上)



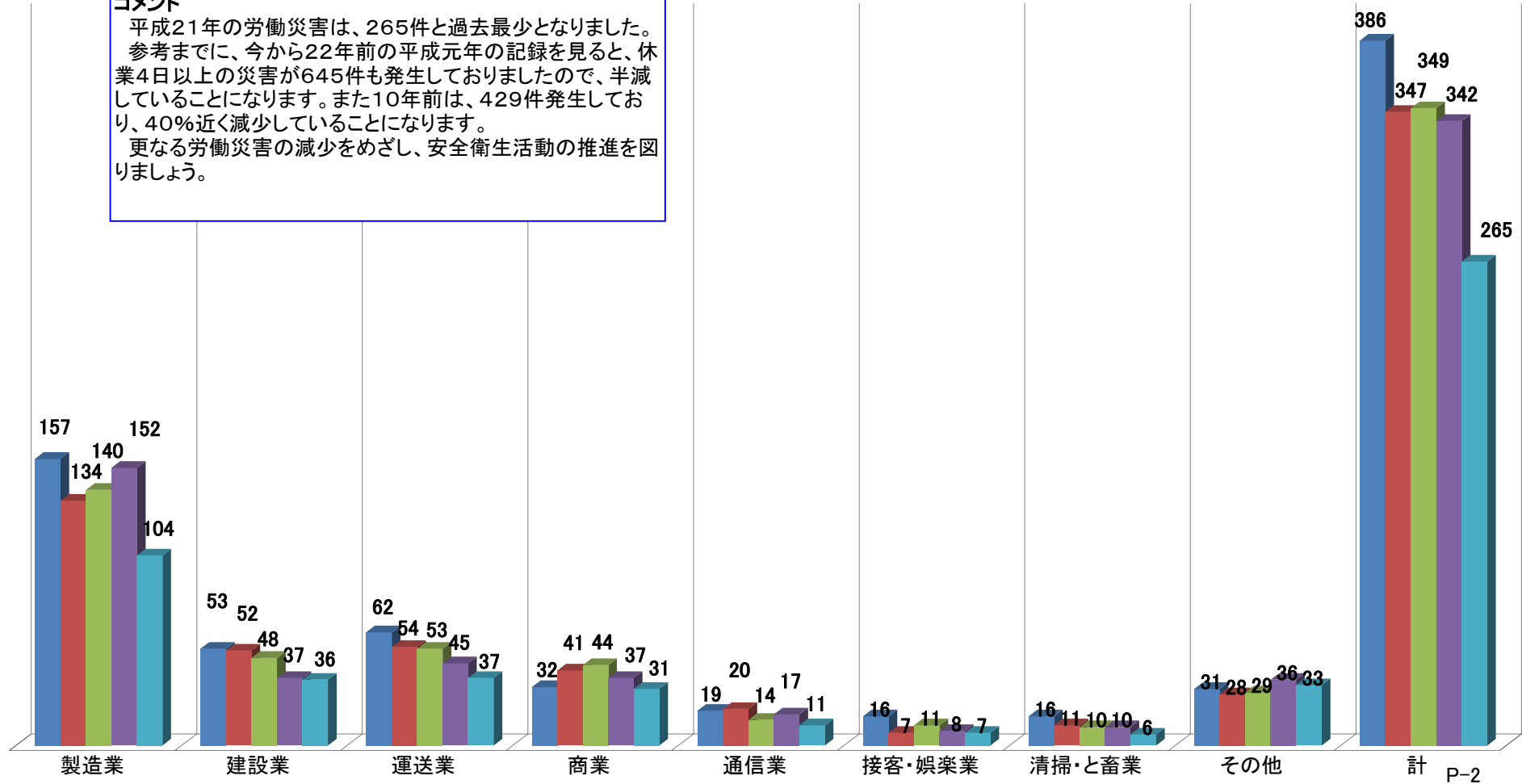
**コメント**  
 平成21年は製造業で大幅に災害が減少しました。  
 (前年比31.5%減)  
 茨城労働局の調査によると、平成22年3月現在の製造業のリスクアセスメントの導入率は40%を超え、年々導入している企業数が増えてきています。災害が減少している要因の一つと考えられます。

## グラフ1-2 平成17年～平成21年・業種別年別災害発生状況 (休業4日以上)

■平成17年 ■平成18年 ■平成19年 ■平成20年 ■平成21年

### コメント

平成21年の労働災害は、265件と過去最少となりました。  
参考までに、今から22年前の平成元年の記録を見ると、休業4日以上  
の災害が645件も発生しておりましたので、半減していることになり  
ます。また10年前は、429件発生しており、40%近く減少している  
ことになります。  
更なる労働災害の減少をめざし、安全衛生活動の推進を図りましょ  
う。

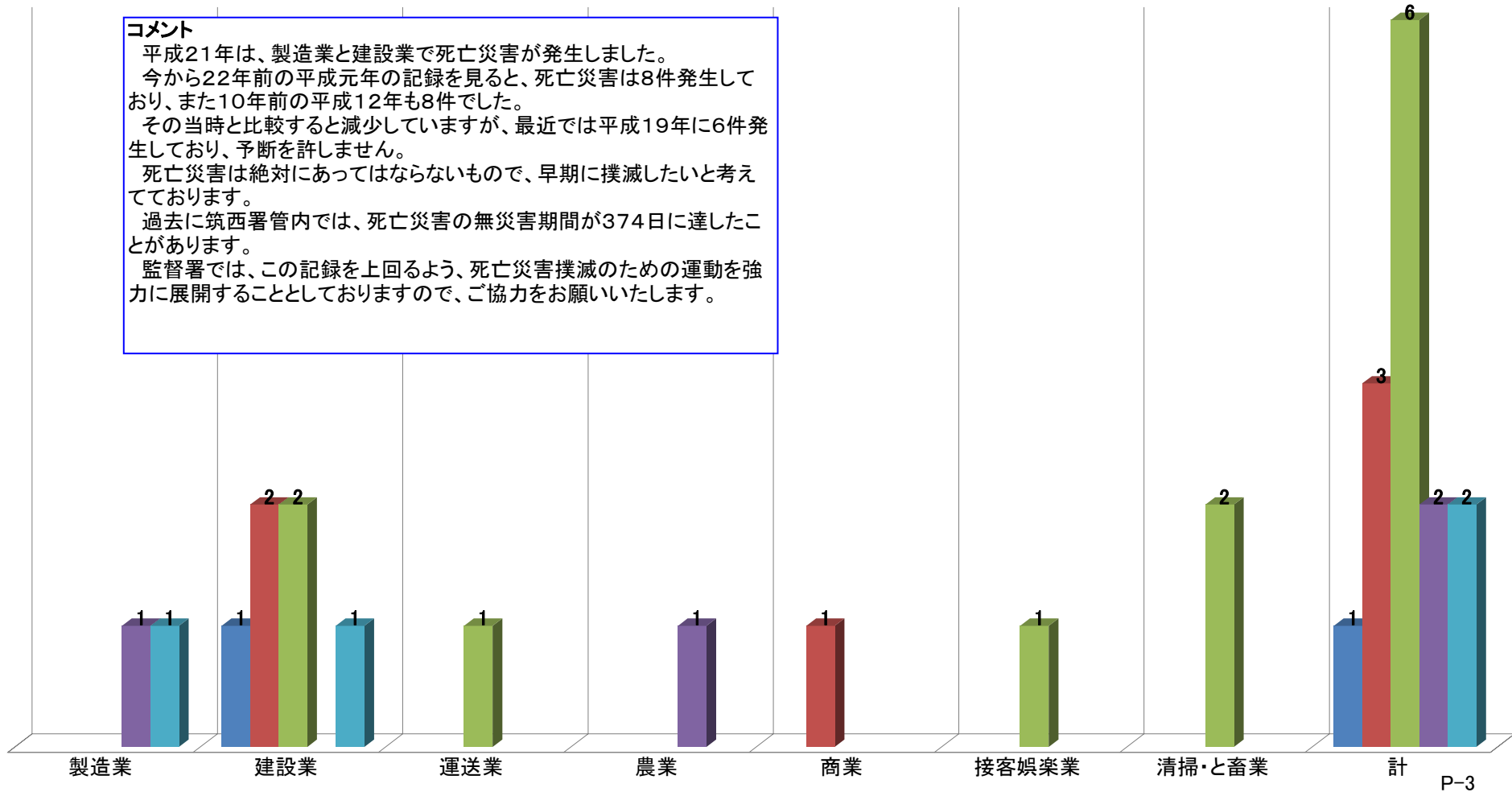


# グラフ1-3 平成17年～21年・業種別年別災害発生状況 (死亡災害)

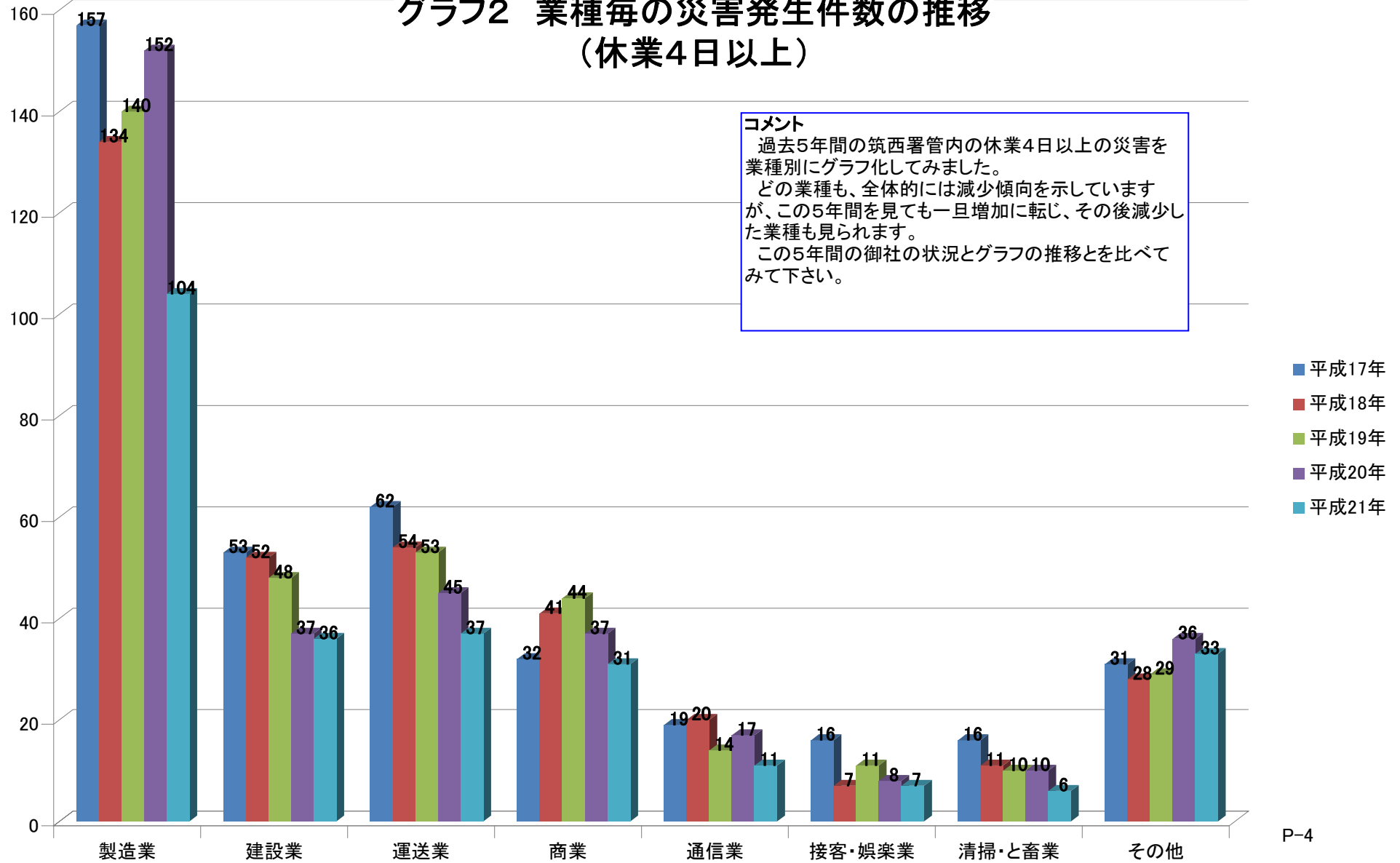
■平成17年 ■平成18年 ■平成19年 ■平成20年 ■平成21年

### コメント

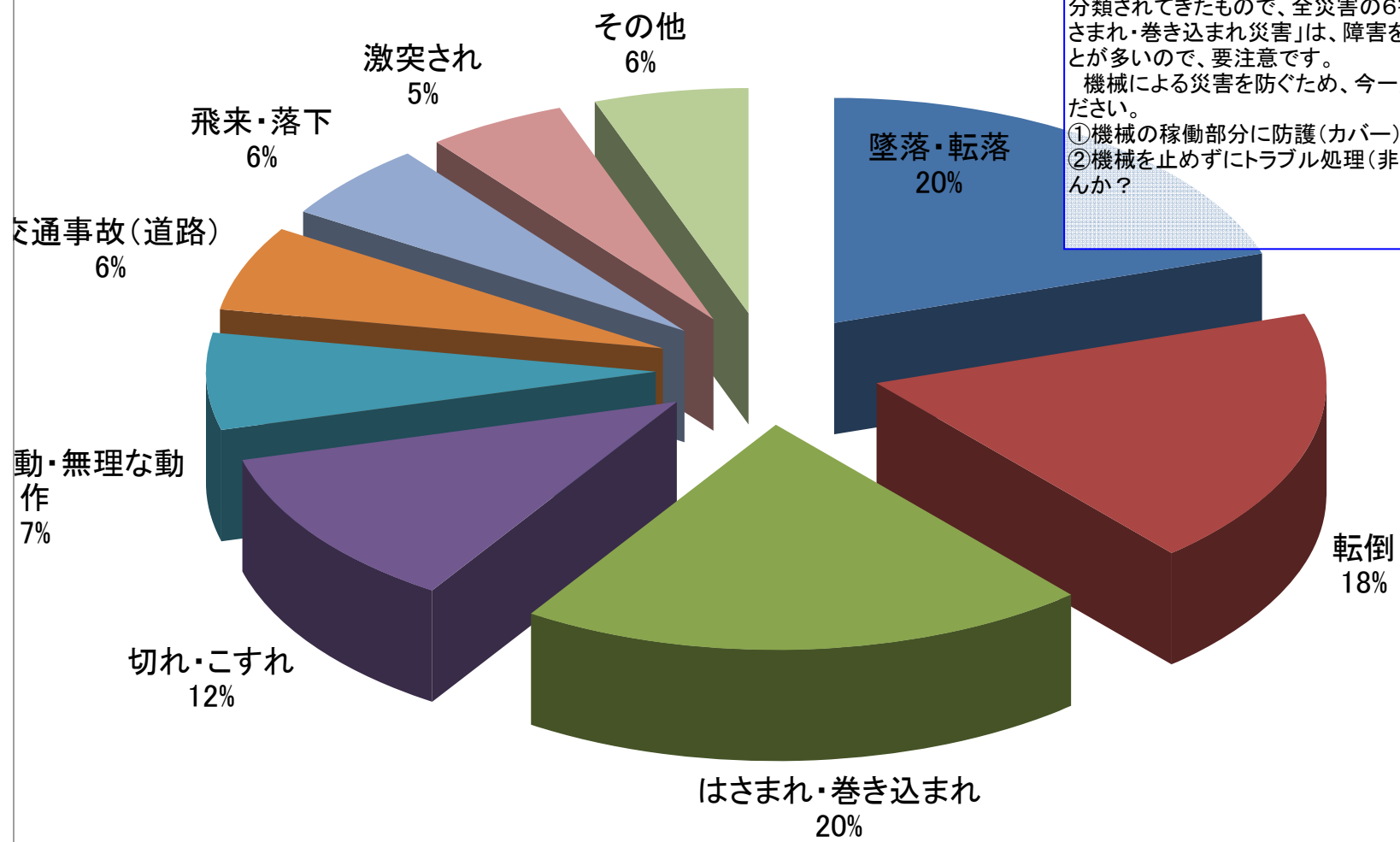
平成21年は、製造業と建設業で死亡災害が発生しました。  
 今から22年前の平成元年の記録を見ると、死亡災害は8件発生しており、また10年前の平成12年も8件でした。  
 その当時と比較すると減少していますが、最近では平成19年に6件発生しており、予断を許しません。  
 死亡災害は絶対にあってはならないもので、早期に撲滅したいと考えております。  
 過去に筑西署管内では、死亡災害の無災害期間が374日に達したことがあります。  
 監督署では、この記録を上回るよう、死亡災害撲滅のための運動を強力に展開することとしておりますので、ご協力をお願いいたします。



## グラフ2 業種毎の災害発生件数の推移 (休業4日以上)



### グラフ3 事故の型別災害発生状況 (休業4日以上)

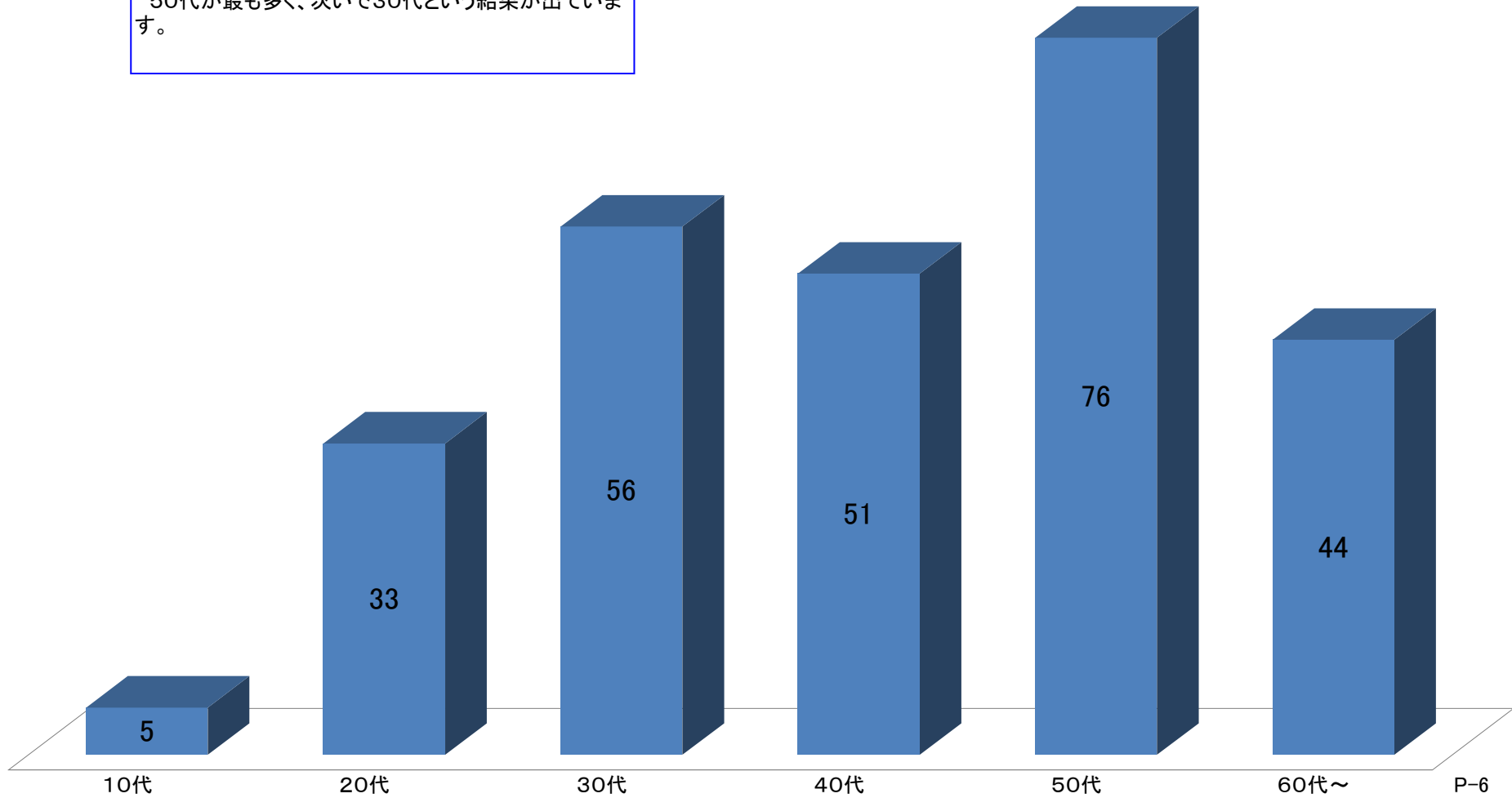


**コメント**  
実際に発生した災害を事故の型別に分析してみました。最も多いのは「はさまれ・巻き込まれ災害」で次いで「墜落・転落災害」、「転倒災害」となります。これらは昔から3大災害に分類されてきたもので、全災害の6割にも上ります。特に「はさまれ・巻き込まれ災害」は、障害を残す重篤な災害となることが多いので、要注意です。  
機械による災害を防ぐため、今一度次の点をチェックしてください。  
①機械の稼働部分に防護(カバー)はありますか？  
②機械を止めずにトラブル処理(非定常作業)をしていませんか？

## グラフ4 年代別災害発生状況 (休業4日以上)

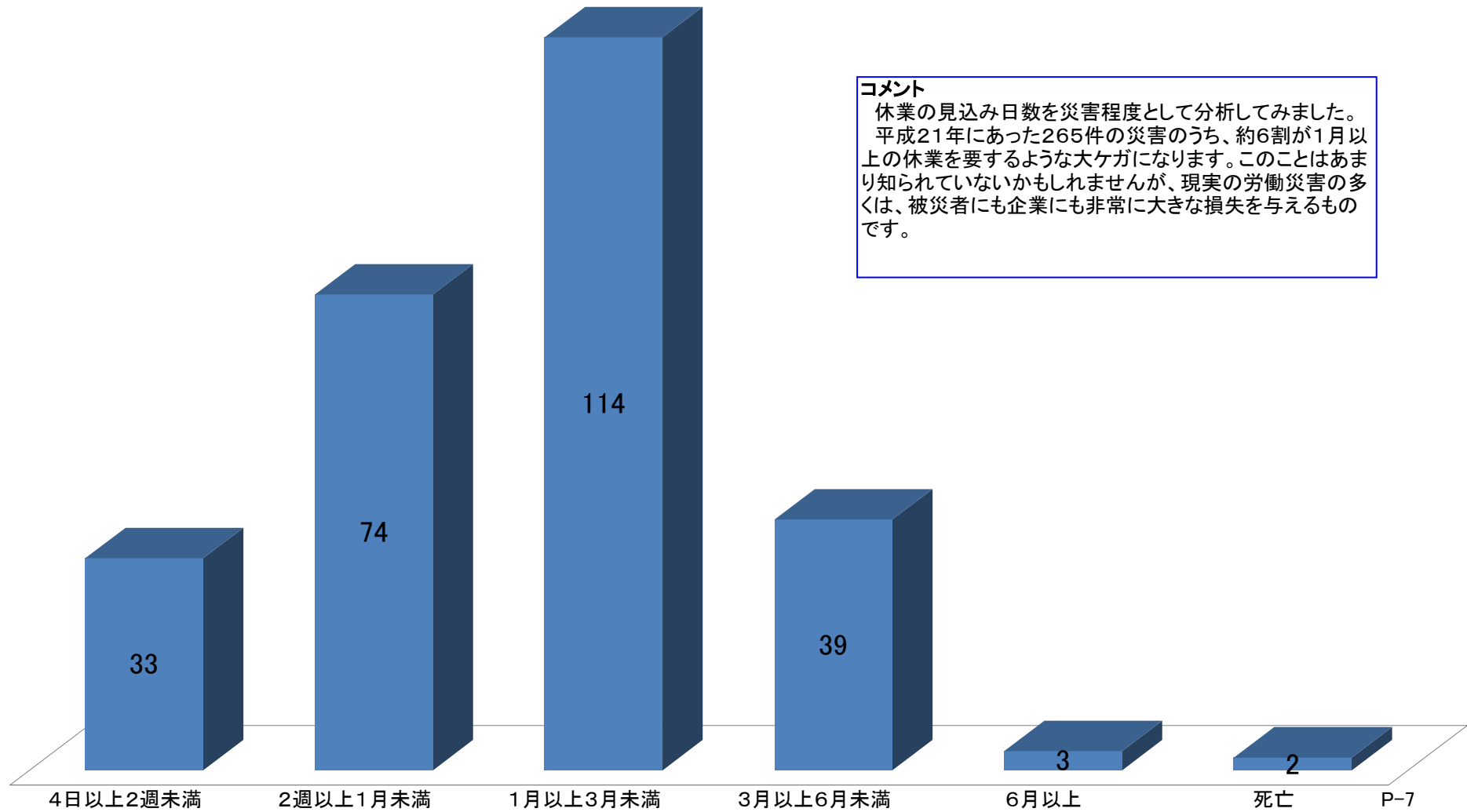
### コメント

年代別の状況をグラフ化しました。  
50代が最も多く、次いで30代という結果が出ています。





## グラフ5 災害程度別発生状況

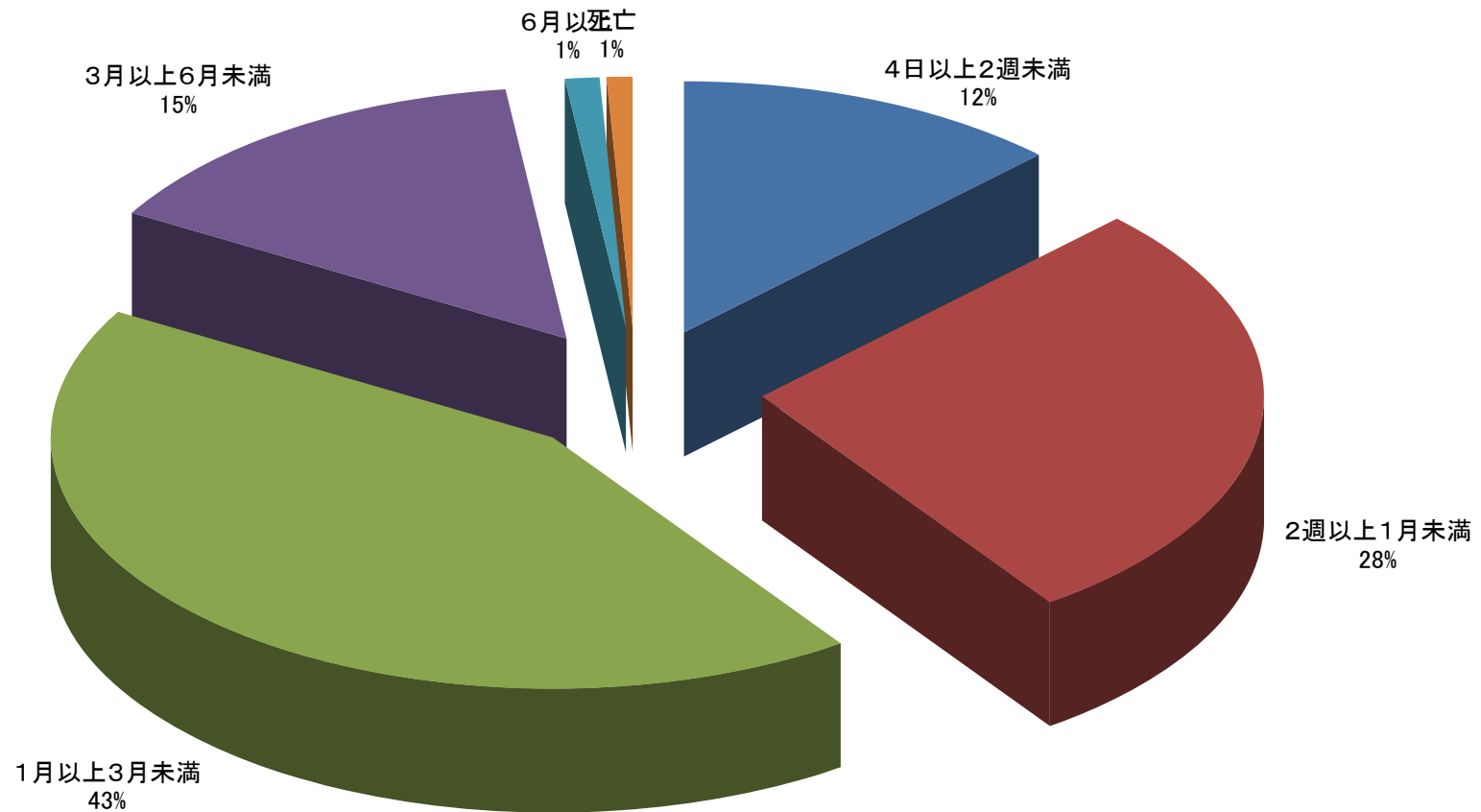


### コメント

休業の見込み日数を災害程度として分析してみました。  
平成21年にあった265件の災害のうち、約6割が1月以上の休業を要するような大ケガになります。このことはあまり知られていないかもしれませんが、現実の労働災害の多くは、被災者にも企業にも非常に大きな損失を与えるものです。

## グラフ5-2 災害程度別発生状況 (休業4日以上)

コメント  
グラフ5を円グラフ化してみました。  
改めて、大きな災害が多いことに気づくと思います。



## グラフ6 月別災害発生状況 (休業4日以上)

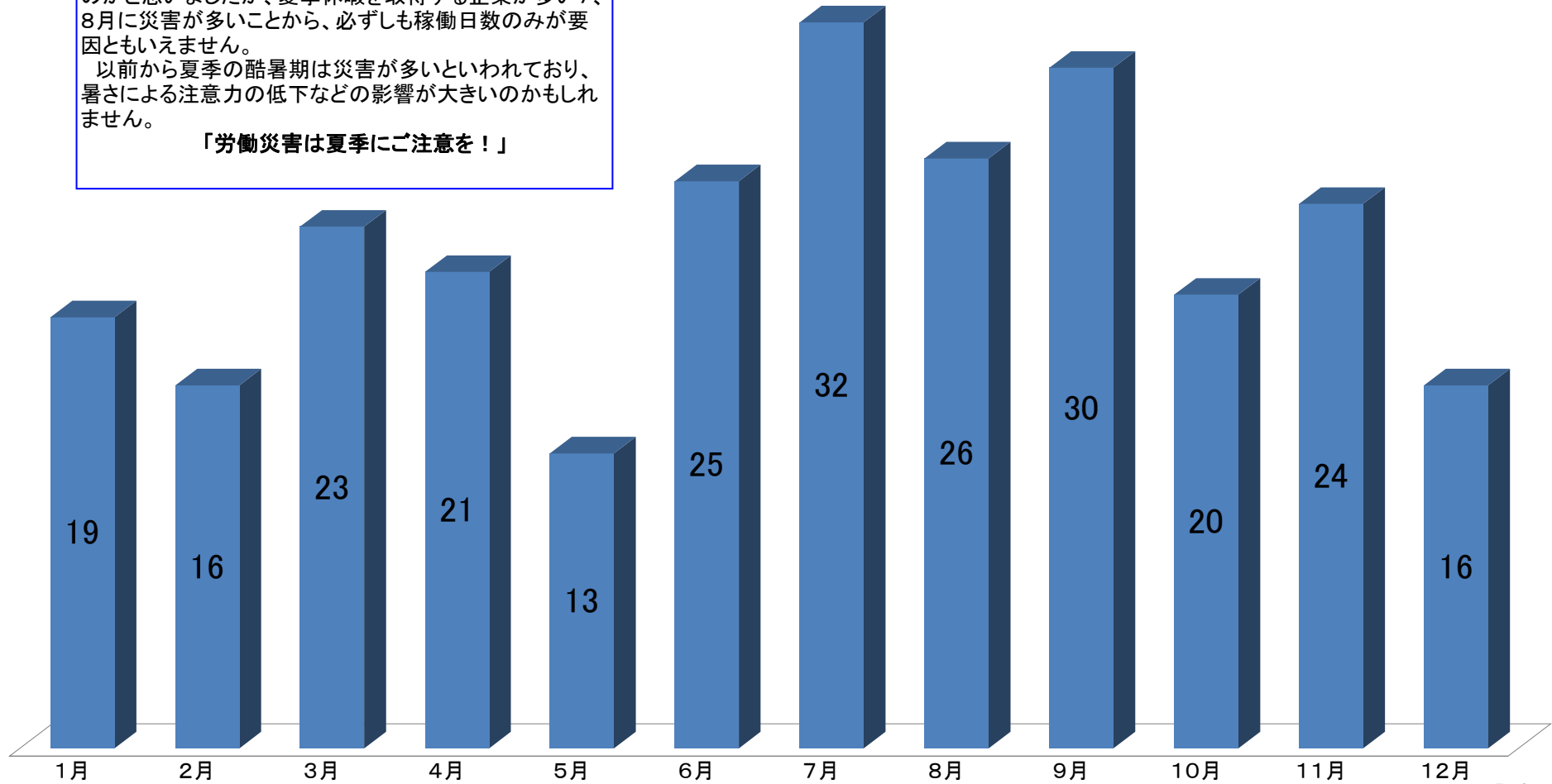
### コメント

平成21年の労働災害を発生した月別にグラフ化してみました。7月が最も多く、5月が最少です。

この月別のバラつきは、企業の稼働日に影響しているのかと思いましたが、夏季休暇を取得する企業が多い7、8月に災害が多いことから、必ずしも稼働日数のみが要因ともいえません。

以前から夏季の酷暑期は災害が多いといわれており、暑さによる注意力の低下などの影響が大きいのかもかもしれません。

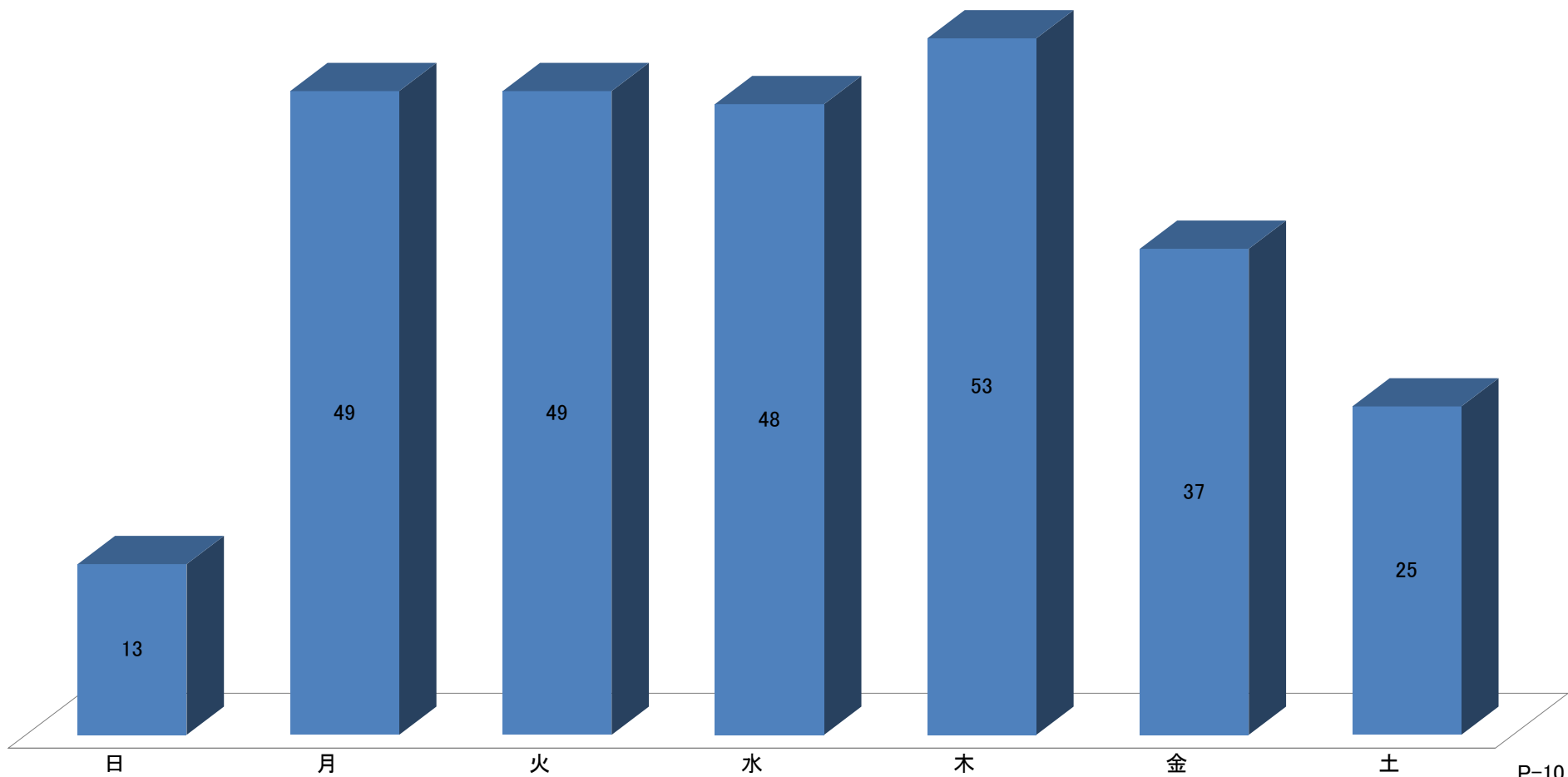
**「労働災害は夏季にご注意を！」**



コメント

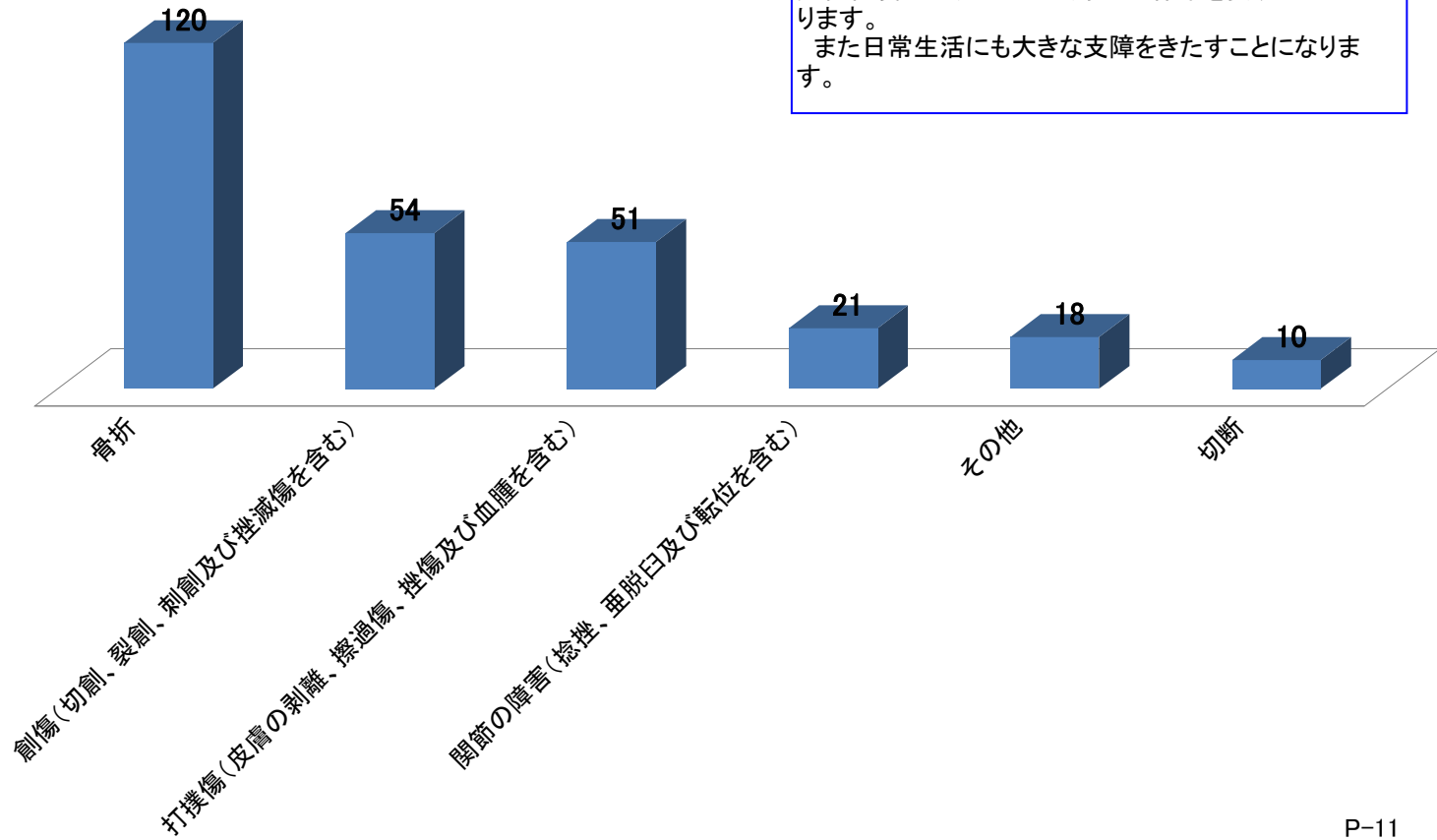
平成21年の労働災害を発生した曜日別にグラフ化してみたところ、木曜日が最も多い結果となりました。月曜日から仕事が始まり、週末に向かう木曜日あたりに疲れがたまっている、注意力の低下などが影響しているのかもしれませんが、「木曜日が要注意！」

## グラフ7 曜日別災害発生状況 (休業4日以上)



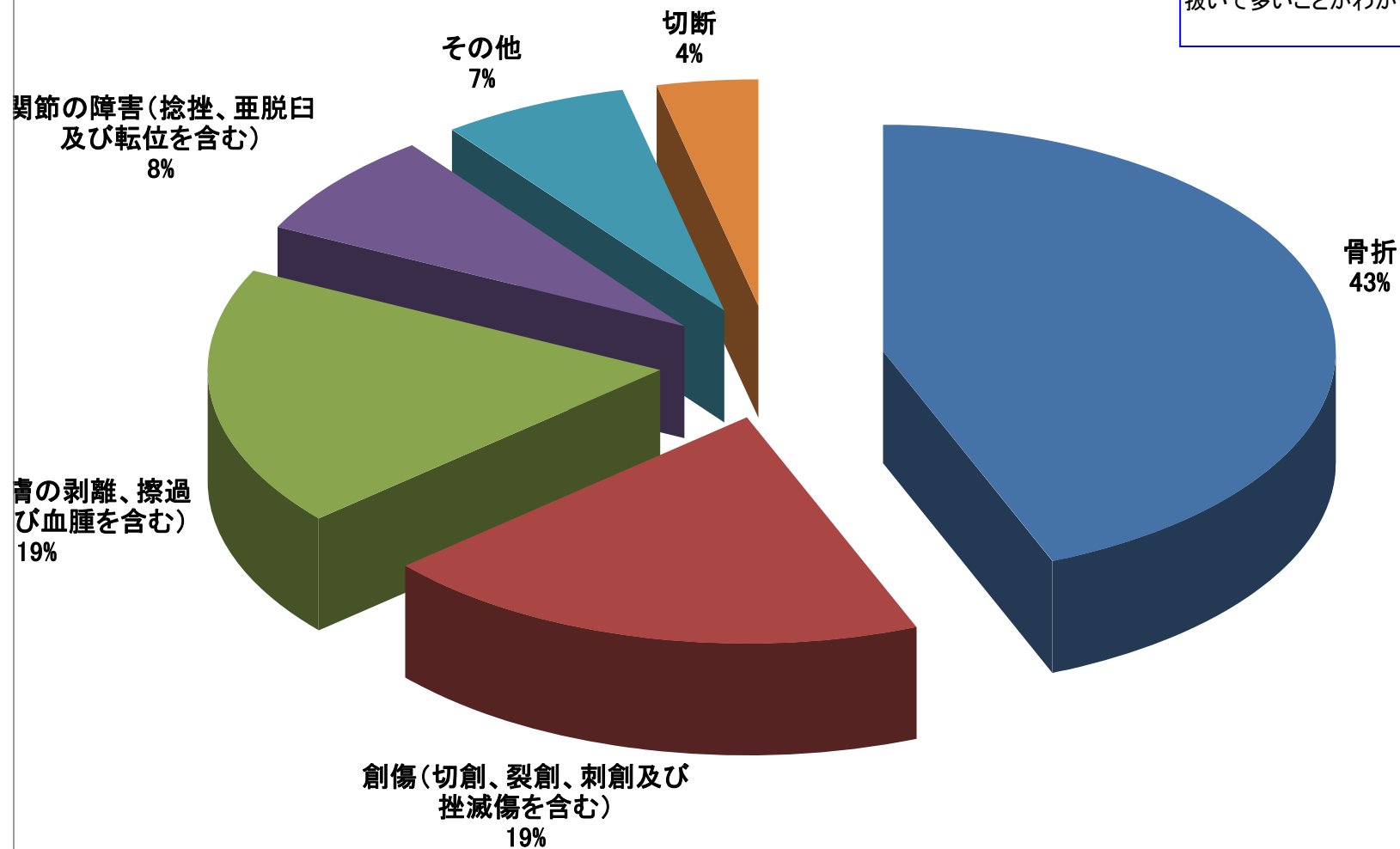
### グラフ8 傷病性質別災害発生状況 (休業4日以上)

**コメント**  
労働災害ではどのような怪我が多いのか、傷病の性質を分析してみました。  
最も多いのが骨折で他を大きく引き離しています。  
骨折は回復まで時間が多くかかることから、先ほどの災害程度のグラフのとおり多くの休業を要することになります。  
また日常生活にも大きな支障をきたすこととなります。

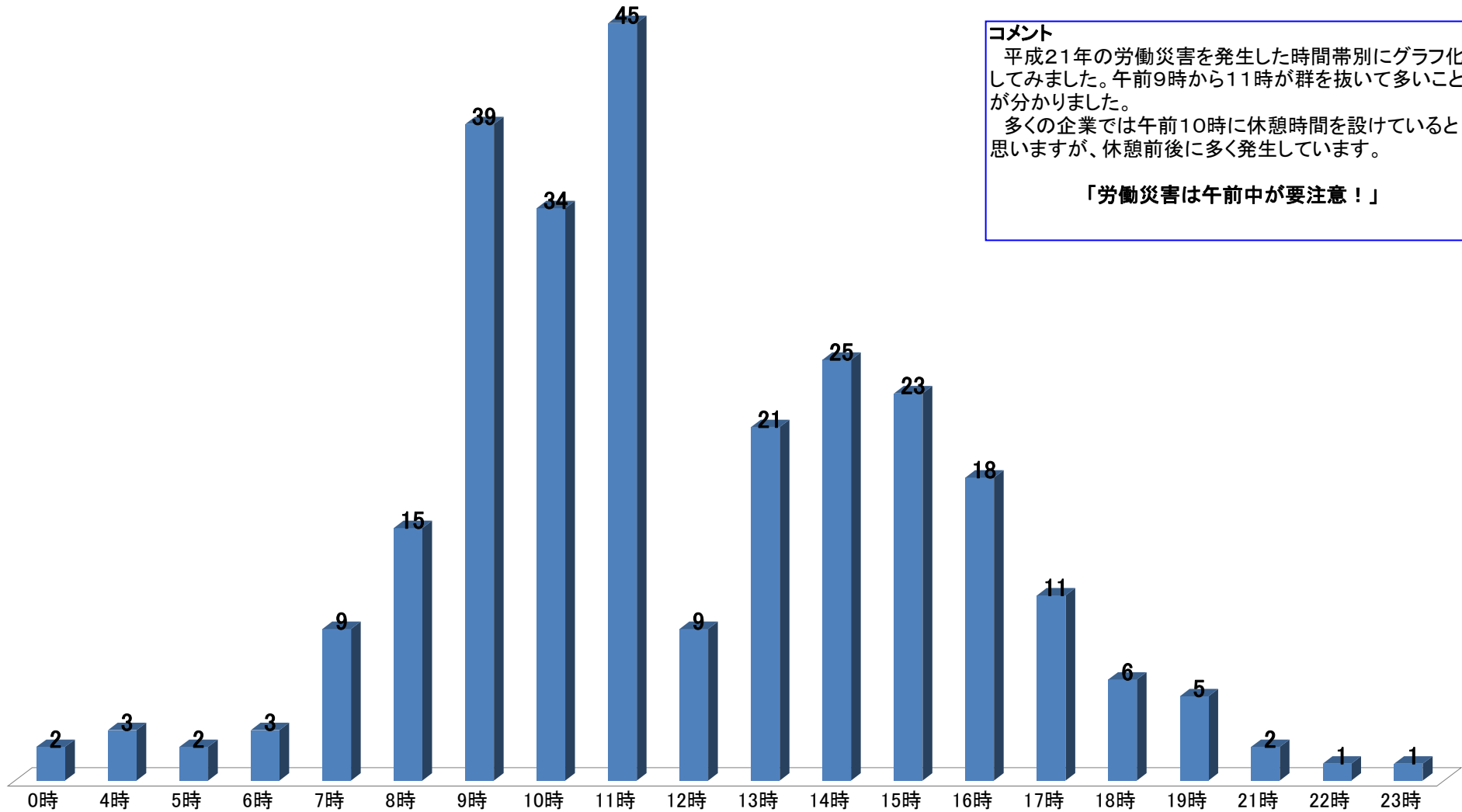


### グラフ 8-2 傷病性質別災害発生状況 (休業4日以上)

コメント  
グラフ8を円グラフにしてみました。骨折が群を抜いて多いことがわかります。



### グラフ9 時間帯別災害発生状況 (休業4日以上)



#### コメント

平成21年の労働災害を発生した時間帯別にグラフ化してみました。午前9時から11時が群を抜いて多いことが分かりました。

多くの企業では午前10時に休憩時間を設けていると思いますが、休憩前後に多く発生しています。

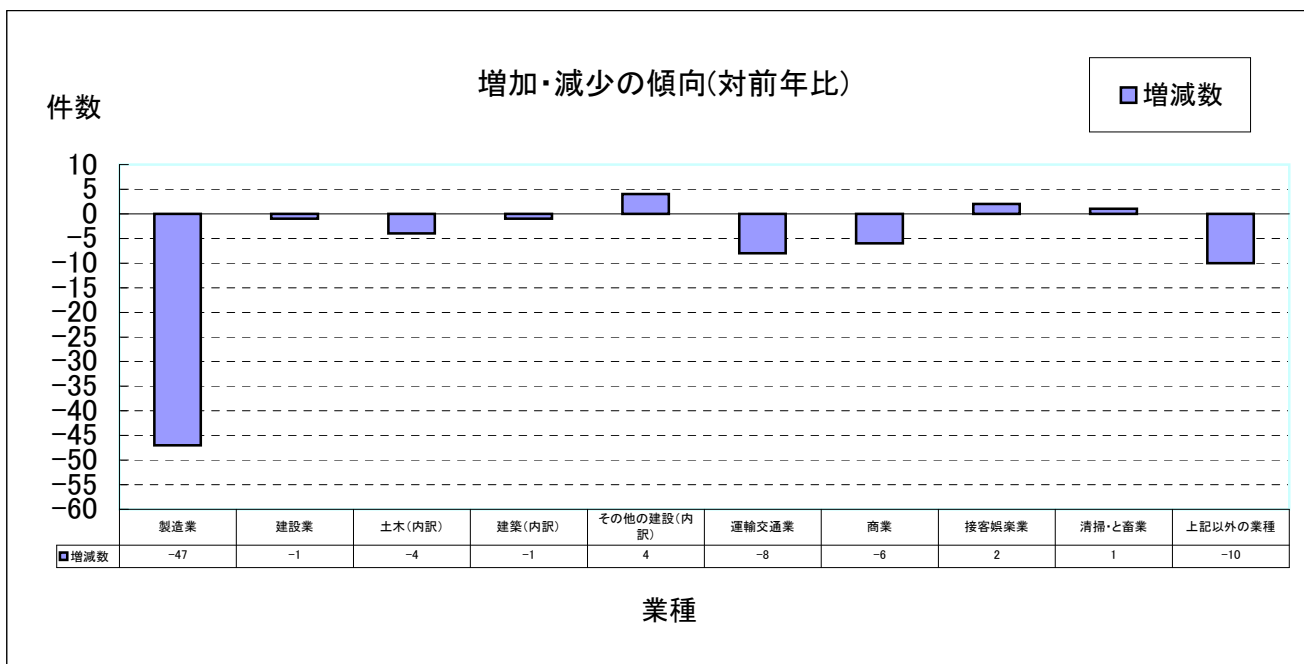
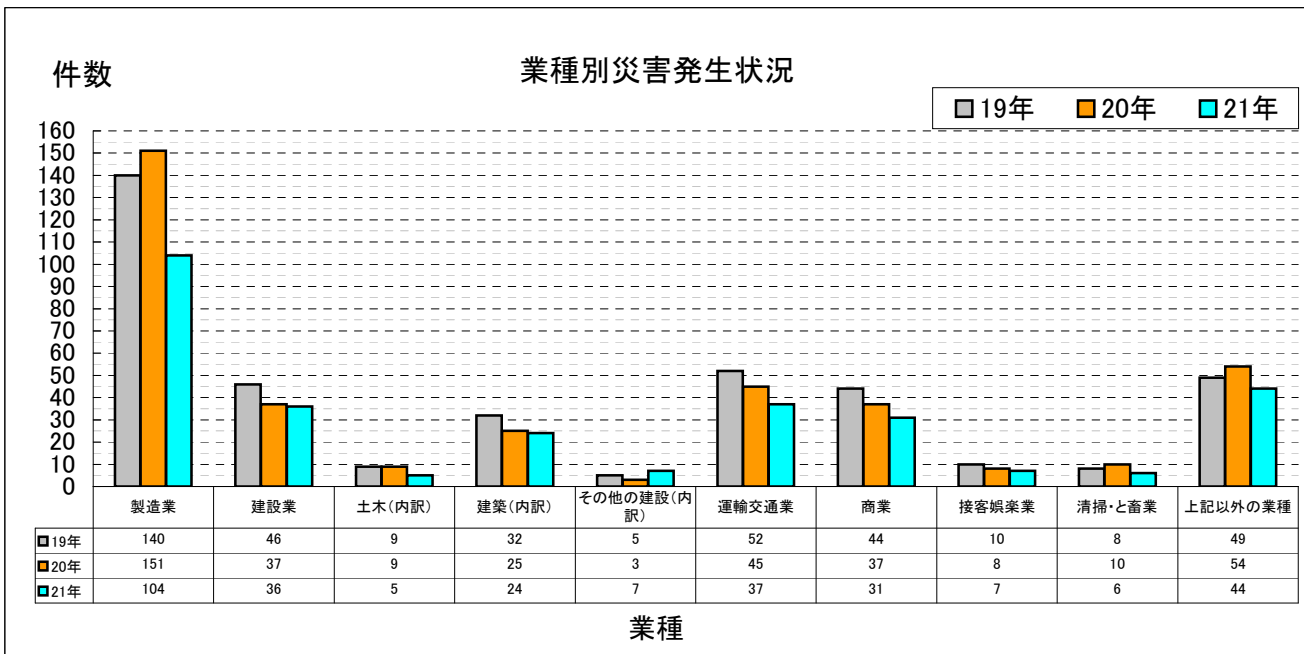
**「労働災害は午前中が要注意！」**

表1 平成21年 労働災害の発生状況（休業4日以上 の災害）  
【平成22年4月確定値】

筑西労働基準監督署

業種	平成19年		平成20年		平成21年		対前年比	増減率	構成比(21年)
	死亡	4日以上	死亡	4日以上	死亡	4日以上			
製造業		140	1	151	1	104	-47	-31%	39%
建設業	2	46		37	1	36	-1	-3%	14%
土木(内訳)	1	9		9		5	-4	-44%	2%
建築(内訳)	1	32		25	1	24	-1	-4%	9%
その他の建設(内訳)		5		3		7	4	133%	3%
運輸交通業	1	52		45		37	-8	-18%	14%
商業		44		37		31	-6	-16%	12%
接客娯楽業	1	10		8		7	2	25%	3%
清掃・と畜業	2	8		10		6	1	10%	2%
上記以外の業種		49	1	54		44	-10	-19%	17%
合計	6	349	2	342	2	265	-77	-23%	100%

★ 数値は、労働者死傷病報告より集計したものであり、死亡は休業4日以上の内数である。





## 表 2 死 亡 災 害 事 例

〔平成21年〕

筑西労働基準監督署

	発生日時等	事故の型 起 因 物	災 害 発 生 状 況
1	<p>建 築 工 事 業 3月25日(水) 午後4時50分 男 58才 職種：作業員 経験：4年</p>	<p>墜落・転落  スレート屋根</p>	<p>鉄骨造平屋建て倉庫内に大型の穀物乾燥機を設置するため、同倉庫南側のスレート屋根部分を改修する工事中、新設した側壁部分に波板の取り付けを行った後、当日の作業終了に伴い、屋根上で工具類の後片付けをしていたところ、スレートを踏み抜き、約4.7m下のコンクリート床面へ墜落し、頭部外傷等により死亡した。</p> <p>(問題点) スレート屋根は、労働者が乗ったりして荷重を掛けると容易に割れる恐れがありますので、歩み板等で養生するか安全ネットを張って作業をする必要があります。本件では、一部の歩み板の幅が不十分であったうえ、安全ネットを張っていなかったため、墜落を防止できませんでした。</p>
2	<p>化 学 工 業 (プラスチック容器製造) 6月9日(火) 午前4時00分 男 29才 職種：機械オペレーター 経験：3ヶ月</p>	<p>はさまれ・ 巻き込まれ  射出成形機</p>	<p>プラスチック容器を製造する製造ラインにおいて、成形機の金型を交換する作業中、被災者が成形機本体のすき間に身体を入れた状態で作業を行っていたところ、同僚の作業者が被災者の退避を確認しないまま、成形機の運転スイッチを押したため、上昇してきた金属部品と成形機の上部フレームとの間に頭部及び胸部をはさまれ、頭蓋底骨折等により死亡した。</p> <p>(問題点) 機械の運転を開始する際は、関係労働者に危険を及ぼさないために、一定の方法で合図を行わなければならない。本件では、こうした合図を行わないまま機械の運転を開始してしまったため、機械内部にいた労働者が被災しました。背景としては、事業場において運転開始の合図の方法を決めていなかったことがあります。</p>

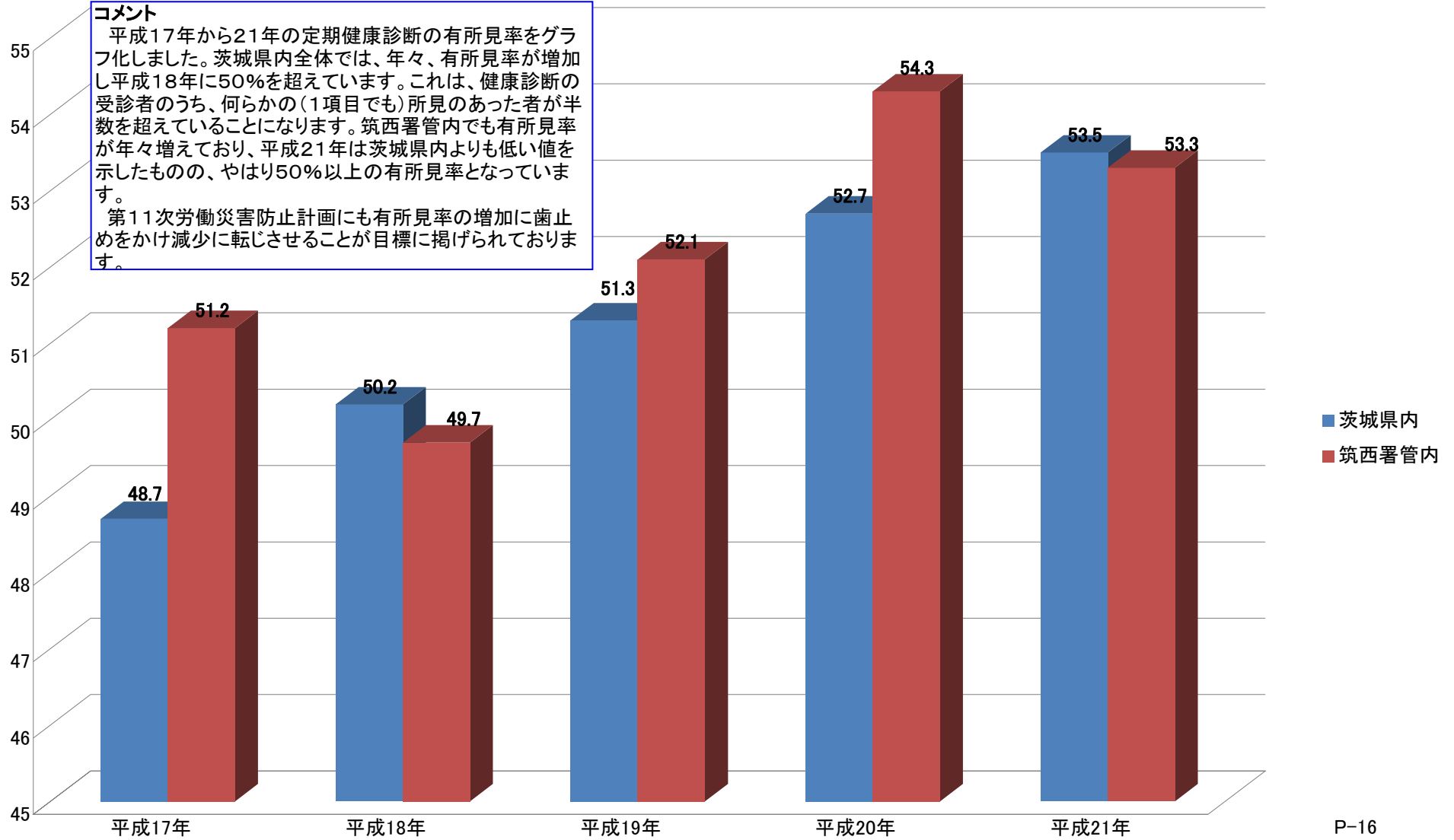
(注) 当該事例は、労働者死傷病報告の内容をもとに作成したものである。

# グラフ10 定期健康診断有所見率の推移(平成17年～21年)

## コメント

平成17年から21年の定期健康診断の有所見率をグラフ化しました。茨城県内全体では、年々、有所見率が増加し平成18年に50%を超えています。これは、健康診断の受診者のうち、何らかの(1項目でも)所見のあった者が半数を超えていることとなります。筑西署管内でも有所見率が年々増えており、平成21年は茨城県内よりも低い値を示したものの、やはり50%以上の有所見率となっています。

第11次労働災害防止計画にも有所見率の増加に歯止めをかけ減少に転じさせることが目標に掲げられています。



# グラフ 11 定期健康診断検査項目ごとの有所見率(平成21年)

**コメント**  
平成21年の定期健康診断の有所見率をグラフ化しました。群を抜いて「血中脂質」の有所見率が高いことが分かります。また「血圧」と「肝機能」の有所見率が高いのも気になります。生活習慣病を予防するためにも、適度な運動、適切な食生活などが求められます。

